

第49回中日理論言語学研究会

言語生態科学国際シンポジウム—黄河流域の方言伝播—
International Symposium on Ecological Linguistics: Dialects
Propagation in Yellow River Basin
語言生態科学国際研討会—黄河流域的方言傳播—

日本学術振興会科研費基盤研究 B (海外調査)「黄河流域方言混合地帯における言語伝播の実態解明—地理情報科学の手法を用いて—」(代表: 沈力)・同志社大学言語生態科学研究センター・中日理論言語学研究会共催

日時: 2019年3月2日(土) 9:50 から 17:50 まで (参加費無料)
場所: 同志社大学 室町キャンパス 寒梅館 2階 203 教室
(京都府京都市上京区御所八幡町今出川通 烏丸東入ル)
交通: 地下鉄烏丸線「今出川」駅 2番出口から徒歩 1分
京阪電車「出町柳」駅から徒歩 15分
バス停「烏丸今出川」から徒歩 1分

趣旨

黄河流域方言混合地帯の魅力は方言の保守性と多様性である。当該地域の方言には、中古～近世における漢語の音韻・形態的变化が反映されており、漢語史研究の上で重要な資料となる。また、黄河流域方言混合地帯は、晋方言と官話方言の境界に位置し、多様な方言生態が観察される。晋方言は中原官話に浸食されつつあるとされ、当該地域における方言の多様性には、中原官話—晋方言間の言語伝播が反映されていると考えられる。強勢方言の影響による言語変化は漢語全体に共通の現象であるが、その具体的プロセスは十分明らかになっていない。当該地域の方言は、強勢方言の影響による言語変化の実態を明らかにする上で重要である。

スケジュール

9:50 開会の挨拶

影山太郎 (同志社大学言語生態科学研究センター所長)
沈力 (本科研代表、中日理論言語学研究会代表)

午前の部: シンポジウム

「黄河流域における中原官話と晋方言の混合」(司会: 沈力)

- | | |
|-------------|--|
| 10:00-10:30 | 邢向東 (陝西師範大学)
「秦晋両省黄河沿岸方言的横向联系」 |
| 10:30-11:00 | 劉勳寧 (明海大学)
「中原官話的傳播与晋方言的退縮」 |
| 11:00-11:30 | 沈力・川崎廣吉 (同志社大学)
「用 GIS 追尋秦晋両省黄河沿岸方言的走向」 |

休憩（10分）【coffee break】

11:40-12:10 全体討論・質疑応答
12:10-13:20 昼休み

午後の部 研究発表 第一部（司会：岩田礼）

13:20-13:50 白雲（山西大学）
「山西柳林方言内部差異分析」
13:50-14:20 白静茹（山西大学）
「石楼方言的語音層次和内部差異」
14:20-14:50 趙變親（山西師範大学）
「山西沁水方言内部的語音差異」
14:50-15:20 平田昌司（京都大学）
「平山久雄先生《日僧安然〈悉曇藏〉里關於唐代声調的記載》与《安然〈悉曇藏〉里關於唐代声調的記載-調值問題》讀書筆記」

休憩（20分）【coffee break】

午後の部 研究発表 第二部（司会：平田昌司）

15:40-16:10 徐丹（フランス国立東方言語文化学院）
「從跨学科的角度看黃河流域的語言」
16:10-16:40 史秀菊（山西大学）
「山西興県方言指示詞兼第三人称代詞的複雜形式」
16:40-17:10 太田斎（神戸市外国語大学）
「身体名称に見える類推等の現象」
17:10-17:40 岩田礼（公立小松大学）
「語彙変化からみた晋語とその周辺方言の關係」

17:40 閉会の挨拶

18:30 よりアマーク・ド・パラディ 寒梅館にて懇親会

中日理論言語学研究会事務局
〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3
同志社大学文化情報学部 星研究室（夢告館 711）
TEL&FAX：0774-65-7701
URL: <http://www1.doshisha.ac.jp/~cjt1210/index.html>
E-mail: hhoshi@mail.doshisha.ac.jp